

みんなで守ろう岐阜市の自然

岐阜市自然ふれあい地域ビジョン策定ワークショップ 第24号 平成18年8月発行

はじめに

岐阜市には、金華山、長良川をはじめとした誇るべき自然環境が多くあります。その一方、生活環境の変化、生活基盤を支える様々な整備により、貴重な自然環境が減少しているのもまた事実です。このような状況の中、現在ある岐阜市の貴重な自然環境を、次世代に残し伝えることが、私たちの役割です。

そのための第一歩として「**岐阜市自然ふれあい地域ビジョン**」策定に取り組みます！！



山県北野 三輪北小学校 石田川での環境学習

(6月28日、7月30日)

- ・魚はどんなところに棲んでいるの？
- ・さ～皆で見よう！ 石田川の魚たち

魚はどんなところに棲んでいるの？

6月28日、7月30日の2日間で、三輪北小学校の子どもたちと共に、石田川に生息する生き物探しを行いました。7月30日は夏休み中ということで、親子で石田川探検を行いました。

子どもたちは「魚は川のどんなところに隠れていると思う??」という質問に「草の中」や「石の下」等という答えが出てきました。そこで、実際にどんな場所に魚が隠れているのか、岐阜少年自然の家の先生が捕まえて見せてくれました。すると、子ども達が言ったとおり、草の中や石の下に隠れた魚が捕まえられました。その様子を見て、今度は子どもたちが川に入って魚を捕まえていきました。



今も多種多様な魚が生息している石田川上流域



魚が隠れていそうな水草の生えている所に夕毛網をあてて・・・



子どもも大人も一緒になって楽しみました！！

校長先生もサデ網を使って奮闘しています。

初めて使うタモ網に苦戦をしている子、慣れた手つきでタモ網を扱う子、魚を捕まえて歓声を上げるお父さん、お母さん。様々な表情を見せながら皆で石田川の魚を捕まえました。

さ～皆で見てください！石田川の魚たち

両日共に、1時間程度の短い時間でしたが、石田川に生息するたくさんの生き物を捕まえることができました。カワムツやオイカワなど一般的によく見られるものから、近年河川環境の変化から数を減らしているタナゴの仲間やカワヒガイ、ゼゼラ、ドンコなども確認出来ました。また、タナゴの仲間が産卵するために必要な二枚貝のマツカサガイやトンガリササノハガイも見つけることができました。これは二枚貝が生息するために必要な砂底の環境が残されている証拠です。



石田川に生息する魚と環境について説明してもらいました。石田川は自然の状態で砂底だから、二枚貝もすんでいるということがわかりました。



カワヨシノボリ



上 ヤリタナゴ
下 カワヒガイ



ナマズ



マツカサガイ



カマツカ



ゼゼラ



オイカワ



カワヒガイ

石田川で捕まえた生き物（一部）です。このほかにも、ヤゴやカワニナ、様々な水生昆虫もいっぱい捕まりました。

おわりに

石田川には多くの種類の生きものが生息していることがよく分かりました。そして、その自然環境がとても貴重な地域の宝物だと皆で実感していました。最後に講師の先生から子ども達に「君たちが大人になった時、子ども達に生きものでいっぱいの石田川を見せることができるように守ってあげてください！！」と伝えていました。これは子どもたちに向けたメッセージではありませんが、このことはまさに、私達大人に対してのメッセージでもあり、私達が取り組むべきテーマであると実感しました。

自然ふれあい地域ビジョンに関する問い合わせ

岐阜市 人・自然共生部 みどり自然室 担当：吉村

TEL：058-265-4141 FAX：058-267-1374

E-mail：midori@city.gifu.gifu.jp

みどり自然室 HP アドレス：http://www.city.gifu.gifu.jp/splash/midori/index.html